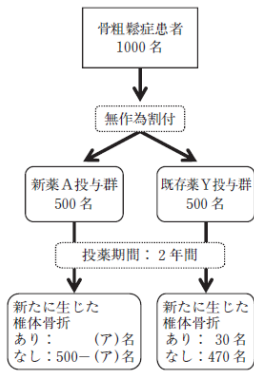


# 100-194

## 問題文

骨粗鬆症治療薬である新薬Aの評価を行うため文献を収集した。椎体骨折予防効果を既存薬Yと比較した無作為化二重盲検比較試験のデータが得られ、新薬Aによる予防効果が大きいことが示されていた(図)。

この結果から得られる新薬Aの治療必要数(NNT)が25であるとき、図の(ア)に入る数値として適切なのはどれか。1つ選べ。



- 1. 5
- 2. 10
- 3. 15
- 4. 20
- 5. 25

## 解答

2

## 解説

NNT は、絶対リスク減少の逆数です。

選択肢 1 が正解だとすると

(ア) が 5 なので、椎体骨折のリスクが 新薬投与群では  $5/500 = 1/100$  となります。一方、既存薬群では、 $30/500 = 6/100$  となります。(もう少し約分できますが、新薬投与群と分母を揃えています。) リスクの差は、 $6/100 - 1/100 = 5/100 = 1/20$  です。従って、逆数をとると、NNT は 20 です。25 ではないため、選択肢 1 は誤りです。

以下、同様に選択肢を検討すると、選択肢 2 が正解です。

(ア) が 10 とすると、新薬投与群において、椎体骨折のリスクは  $10/500 = 2/100$  となります。既存薬とのリスクの差は、 $6/100 - 2/100 = 4/100 = 1/25$  です。従って、逆数をとると、NNT は 25 となります。

以上より、正解は 2 です。